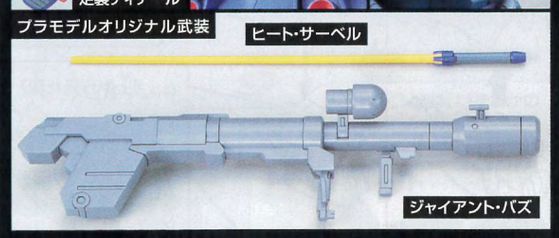
ACTION アクション

REAR VIEW リアビュー

DETAIL ディテール



※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等ブルー部:
ブルー(80%)
＋パープル(20%)

●本体等ダークブルー部:
ブルーグレー(60%)
＋インディブルー(30%)
＋デイトナグリーン(10%)

●本体等レッド部:
モンザレッド(40%)
＋オレンジイエロー(40%)
＋ホワイト(20%)＋ブラック(極少量)

●関節等グレー部:
グレー(60%)＋ホワイト(30%)
＋コバルトブルー(10%)

●武器等イエロー部:
イエロー(50%)＋ホワイト(30%)
＋オレンジイエロー(20%)

●センサー等ピンク部:
ピンク(100%)

AMX-009 DREISSEN

NEO ZEON MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

©創通・サンライズ

MODEL NUMBER：AMX-009
HEAD HEIGHT：22.0m
WEIGHT：36.7t
TOTAL WEIGHT：66.8t
GENERATOR OUTPUT：
2,380kw
THRUSTERS TOTAL
PROPULSION：107,800kg
MATERIAL：
GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS：
TRIPLE BEAM CANNON
TRI BLADE
BEAM TOMAHAWK
BEAM LANCER

1/144 SCALE

HG UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト▶www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the Internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

機動戦士ガンダムUC

BANDAI

0189179

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。

AMX-009 DREISSEN

AMX-009 ドライセンは、アクシズが開発した汎用MSである。旧公国軍のMS-09 ドムの系譜にある機体で、実際、一年戦争時最後期の機体であるMS-09R-2 リック・ドムⅡを祖型に据えているとする説もあるが定かではない。地球侵攻を想定し"圧倒的なパワーを持つ陸戦用の機体"をコンセプトとして開発されたが、宇宙空間でも運用可能な優れた汎用性を備えている。生産性も非常に高く、第一次ネオ・ジオン戦争後期における主力機とも呼べる機体であった。アクシズにおいては、"ドムの最終発展型"として開発された機体だが、兵装に関してはアップデートが施されており、ビーム・ランサーとビーム・トマホークといった近接戦闘用の武装や、両腕部の3連装ビーム・キャノンなどを標準装備としている。また、3枚の実体刃を展開し回転しながら目標を切り裂くバーニア付きの投擲兵器トライ・ブレードの装備など、革新的な試みも導入されている。無論、同時期の標準的なビーム兵器も運用可能で、AMX-107 バウ用のビーム・ライフルをはじめ、幅広い兵装を運用することが可能である。アーガマ部隊のガンダムチームとの戦闘記録も多く、カラバのエルゴレア基地壊滅やキリマンジャロ基地の制圧、ラカン・ダカランの部隊によるダブリン周辺でのコロニー落としに伴う被害拡大のための作戦行動の際にも多数投入されている。また、グレミーの謀叛以降も、ハマーン軍とグレミー軍を問わず多数が確認されている。ちなみにグレミー軍に所属する機体は、グレーを基調とする塗装に変更されていた。整備性や拡張性も非常に良好であったらしく、バックパックを換装したビーム・ランチャー装備型や複数のビーム・ライフルを装備した火力支援型などのバリエーションも検討され、いくつかの試作機が実際に建造されたとする資料も存在するほか、U.C.0090年代後半にも公国軍残党による運用例が報告されている。

トライ・ブレード

射出時に入力された座標を目指して自律的に飛行する投擲兵器。遠隔誘導されているわけではない。回転と同期した多方向出力制御によって進行方向を調整しつつ、ブレードで対象を切り裂き破壊する。基部は汎用ラッチとしても流用できる。

各部スラスター

基本的にはほとんどのバーニアが熱核ジェット／ロケットエンジンとなっており、デフォルトの状態で宇宙空間から重力下まで運用可能。ちなみに、腰部と脚部のものは、特にホバー用途に特化された防塵処理が施されている。

3連装ビーム・キャノン

各砲身ごとにエネルギーCAPシステムを内蔵するビーム・キャノン。一門ずつでの連射や同時に発射することで威力を高めた収束ビームを撃ち分けることも可能。通常は腕部装甲内に収納されている。

ビーム・トマホーク／ビーム・ランサー

近接戦闘用の斬撃／刺突兵装。"トマホーク"ユニットはリニアタイプのビーム・エミッターを内蔵しており、"斧"のような形状のビームを形成する。"ランサー"ユニットは、貫通力の高いピック状のビームを形成する。双方は連結してリーチを稼ぐこともでき、状況によって使い分けることができる。

SPEC

型式番号：AMX-009
頭頂高：22.0m
本体重量：36.7t／全備重量：66.8t
ジェネレーター出力：2,380kw
スラスター総推力：107,800kg
装甲材質：ガンダリウム合金
武装：3連装ビーム・キャノン
トライ・ブレード
ビーム・トマホーク
ビーム・ランサー

※データは劇中の設定です。　※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用しています。

AMX-009 ドライセン

●画像はイメージです。

ドライセンは、TVシリーズ「機動戦士ガンダムZZ」などに登場した量産型MSである。U.C.0089年10月9日。リーダーのディドー・カルトハをガンダムチームとの戦闘で喪ってしまった"青の部隊"は、ディドーの遺言に従い、身を寄せていたグレミー・トトを新たなリーダーとして迎え入れる。同月14日、青の部隊が拠点のひとつとするガルダーヤの街を、ネオ・ジオンの基地にしようと目論むオウギュスト・ギダン率いるミンドラの部隊が襲う。アフリカ解放戦線の指揮官ガデブ・ヤシンと共同戦線を張っていたオウギュストは、彼らの民族闘争を利用してネオ・ジオンの勢力を拡大しようとしていたのだ。そこにグレミーが立ちはだかり、"ガンダムチーム"がディドーの仇であることを告げ、ガデブの関心をガンダムチームへと誘導する。「オウギュスト、ドライセンを出せ」ドライセンに乗り込んだグレミーは、青の部隊のエロ・メロエのMS-14A ゲルググとガデブのMS-09G ドワッジの間に割って入る。「仲間の戦術論の違いは、後で協議しろ。今はガンダムだ。私はディドーの志を果たしたい」言葉巧みに、ガルダーヤの処遇を巡って対立するエロとガデブの糾合に成功したグレミーは、そのまま2機を従えガンダムチームに戦いを挑む。そもそも、出奔したルーを捜していただけのガンダムチームは、押っ取り刀で対抗するものの、なかなか反撃できずにいた。はたして、ばらけていた3機がMSZ-010 ZZガンダムに合体するや、グレミーを庇ったエロのゲルググはビーム・サーベルに貫かれて爆散し、ガデブのドワッジもダブル・ビーム・ライフルで真っ二つにされてしまった。「……これまでか、許せ、ディドー・カルトハ!!」自らのドライセンも左腕を失ったグレミーは、無念を抱えつつも後退を余儀なくされ、ミンドラごとガルダーヤの街から撤退することとなってしまった。

HGUC シリーズラインナップ　※この商品には、『HGUC ドライセン』が1体のみ入っています。

ドム系などの重MSがたどる、進化の歴史を確認せよ!!

ジオン軍が開発した重MS。地上用／宇宙用と作られる。
HGUC No.059 ドム／リック・ドム

リック・ドムを元に空間戦闘用に開発した後期生産型。
HGUC No.090 リック・ドムⅡ ライトグリーンバージョン

ドムの設計思想を持つといわれるガンダム。
HGUC No.066 ガンダムGP02A サイサリス

ドム系MSを思わせる外観を持つエゥーゴの量産型MS。
HGUC No.033 リック・ディアス（クワトロ・バジーナカラー）

ネオ・ジオン残党軍「袖付き」が使用したドム系の発展型。
HGUC No.124 ドライセン（ユニコーンVer.）

機動戦士ガンダムZZ　個性的なシルエットを持つZZの様々なMS達をHGUCで体感せよ!!

大量のミサイルを装備するジム系の量産型MS。
HGUC No.126 ジムⅢ

エゥーゴが開発した可変合体MS。
HGUC No.111 ダブルゼータガンダム

上半身と下半身が分離する可変分離MS。
HGUC No.015 バウ

アクシズで開発されたザク系の汎用MS。
HGUC No.014 ザクⅢ

ネオ・ジオンの量産型水陸両用MS。
HGUC No.143 ザク・マリナー

⚠警告（けいこく）

保護者の方へ　必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

⚠注意（ちゅうい）

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

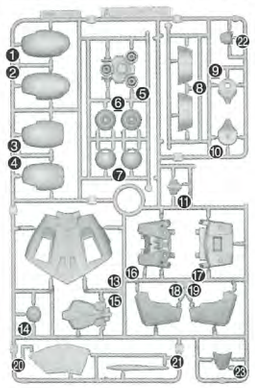
組み立て中に注意する箇所

- 両側に同じパーツを取り付ける
- 反対側も同じように動かします

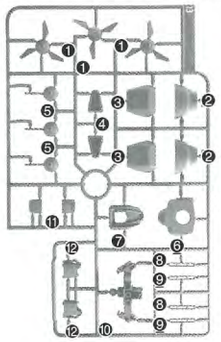
1			×2			
・シールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・向きに注意して取り付ける	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・どちらかを選んで取り付ける

パーツリスト（×印は使用しないパーツです。）

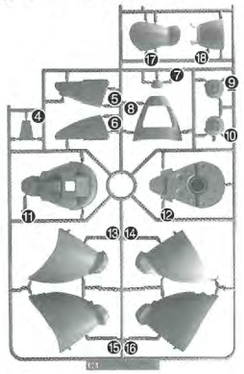
Aパーツ（スチロール樹脂：PS）



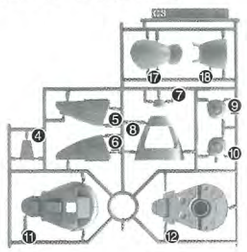
Bパーツ（スチロール樹脂：PS）



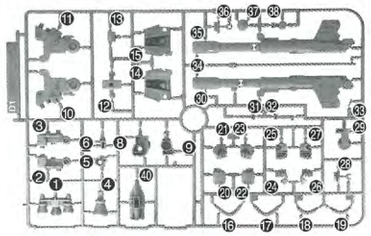
C1パーツ（スチロール樹脂：PS）



C3パーツ（スチロール樹脂：PS）

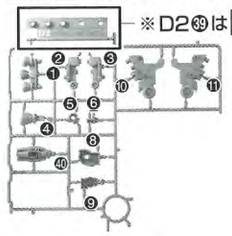


D1パーツ（スチロール樹脂：PS）

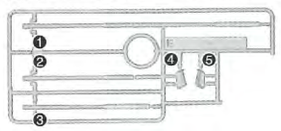


D2パーツ（スチロール樹脂：PS）

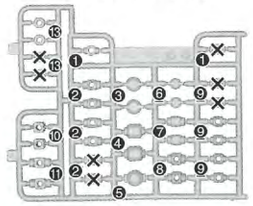
※D2㊴は37で使用します。



Eパーツ（スチロール樹脂：PS）



〈PC-132AC〉
（ポリエチレン:PE）

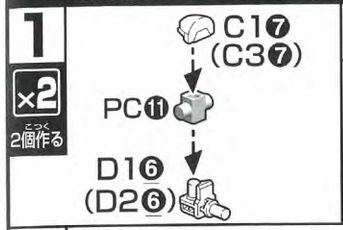


※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

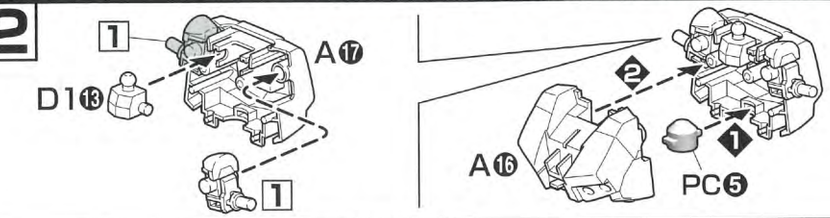
●ホイルシール……1

※部品はきれいに切り取り、向きや左右などイラストを良く見て組み立ててください。

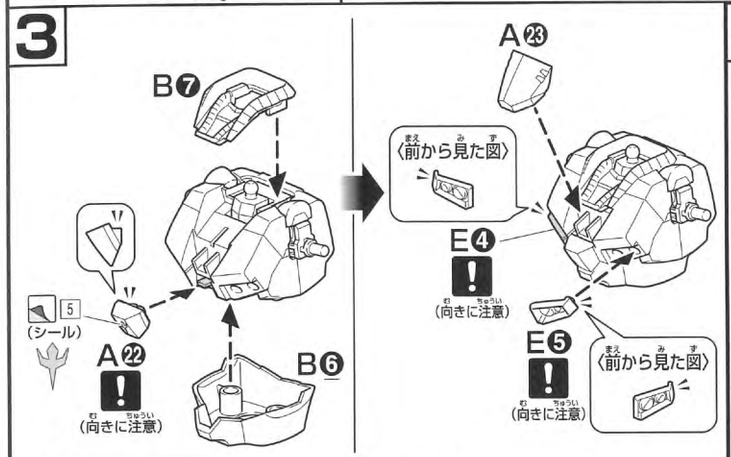
1（×2 2個作る）



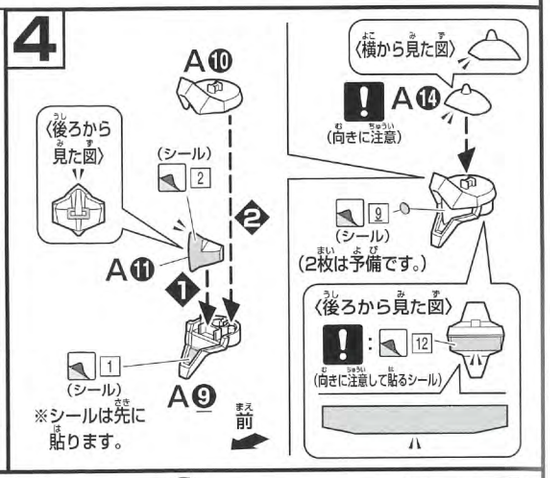
2



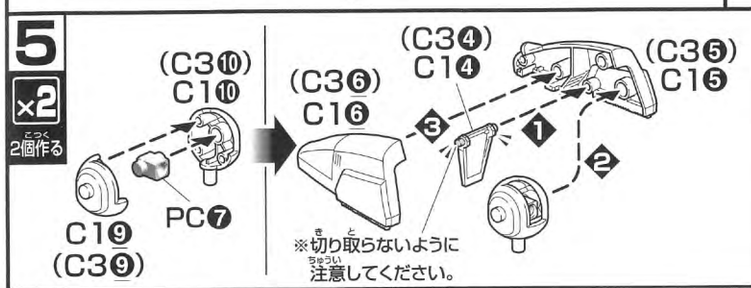
3



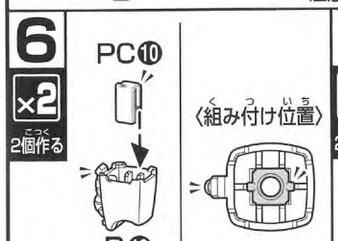
4



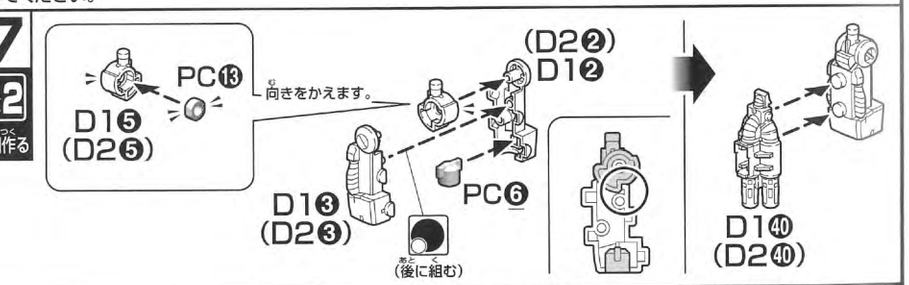
5（×2 2個作る）



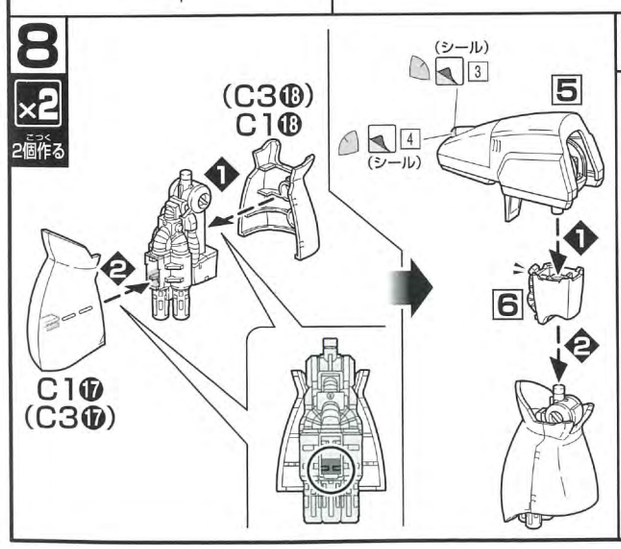
6（×2 2個作る）



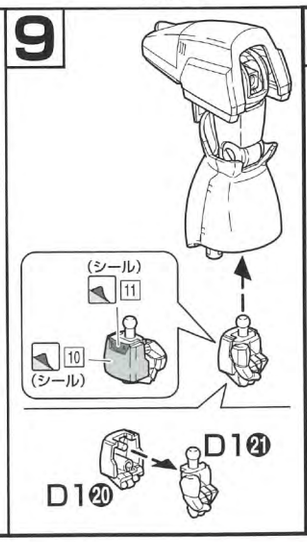
7（×2 2個作る）



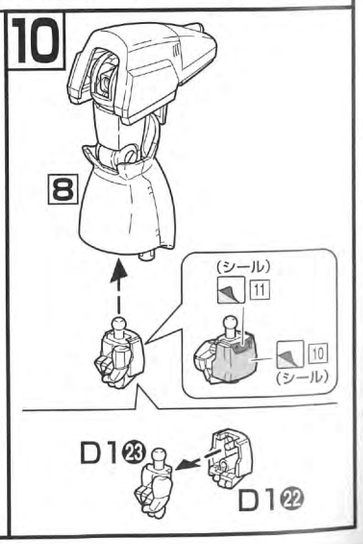
8（×2 2個作る）



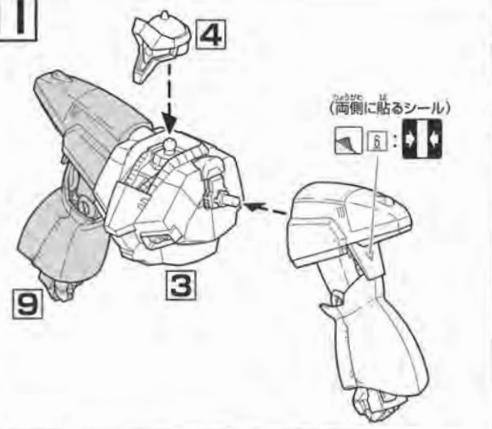
9



10

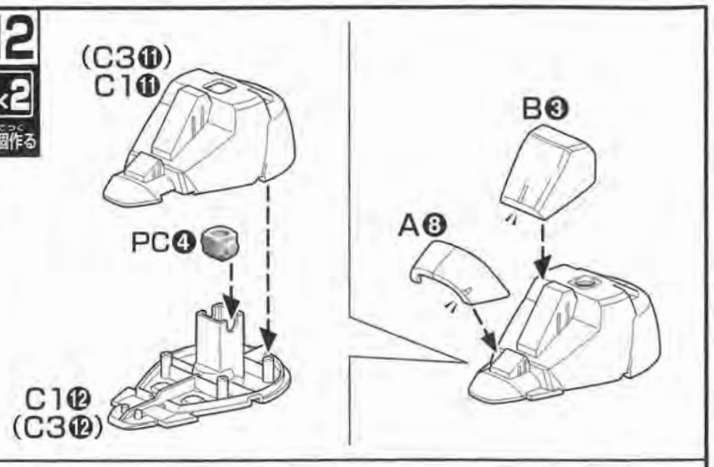


11



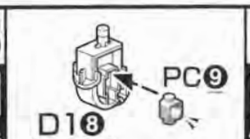
12

×2
2個作る



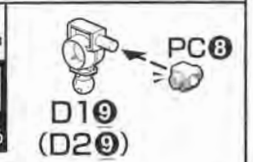
13

×2
2個作る



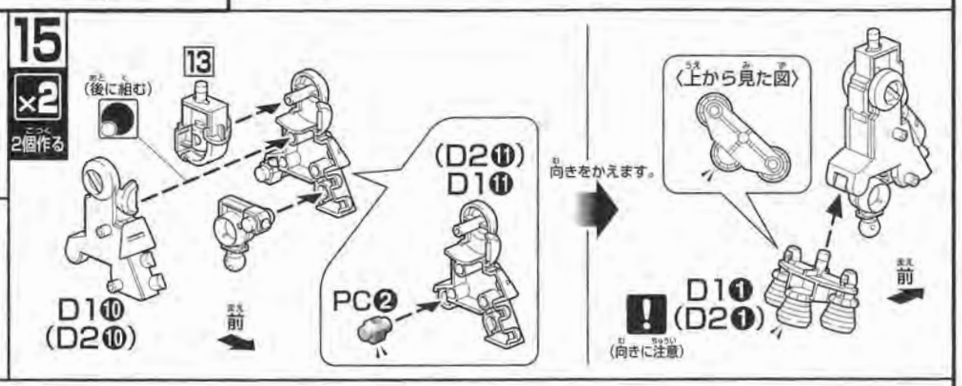
14

×2
2個作る

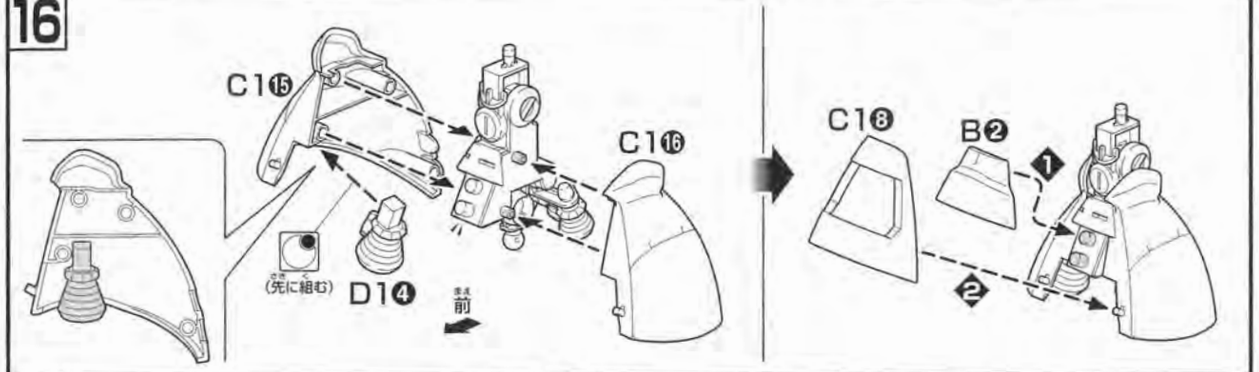


15

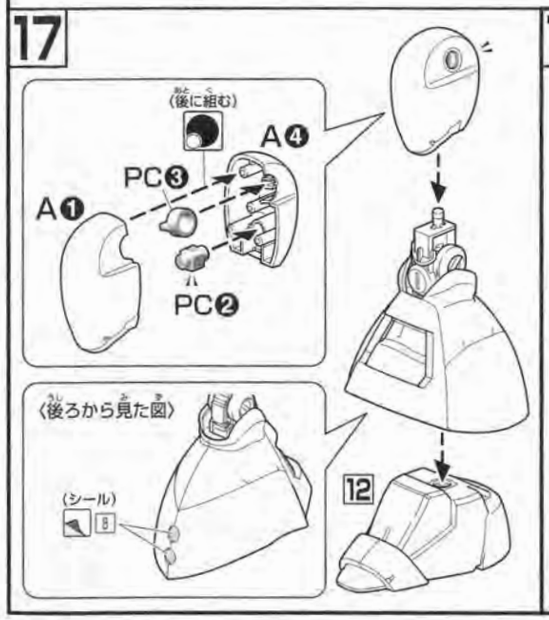
×2
2個作る



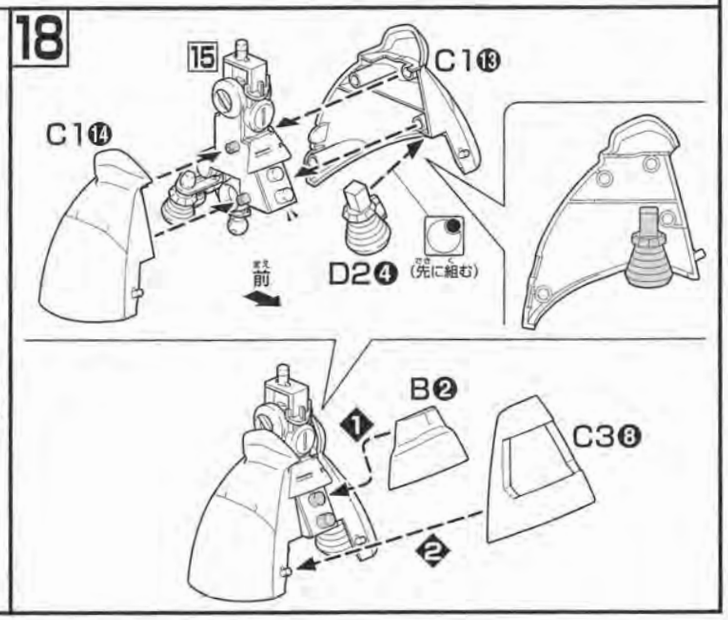
16



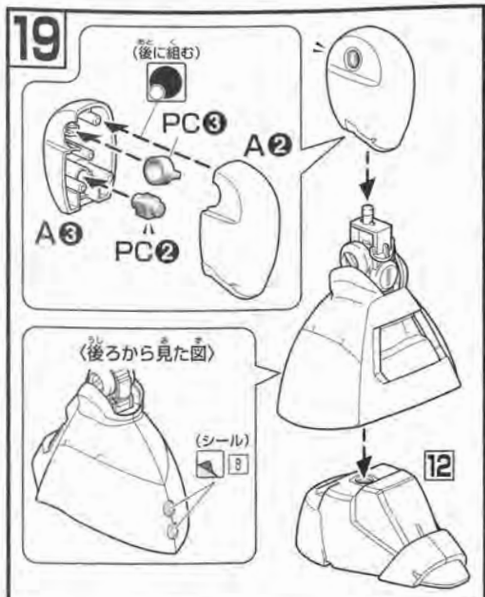
17



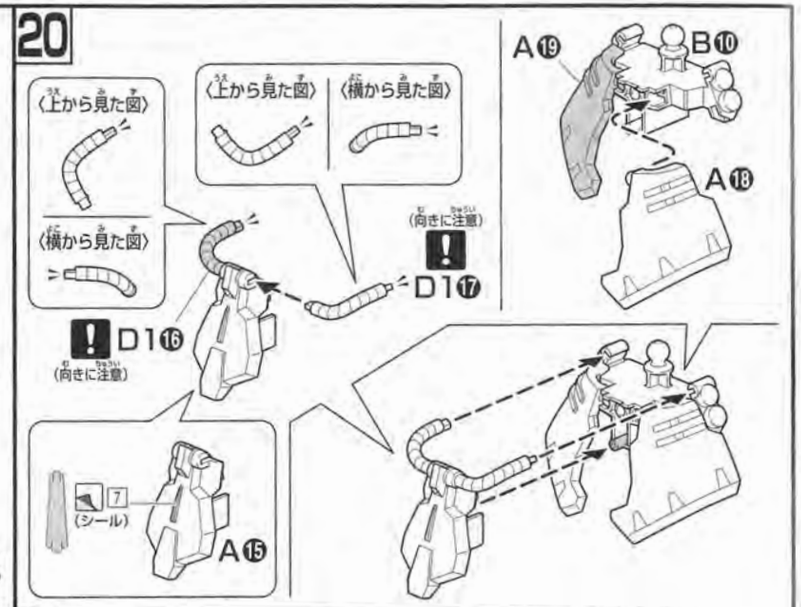
18



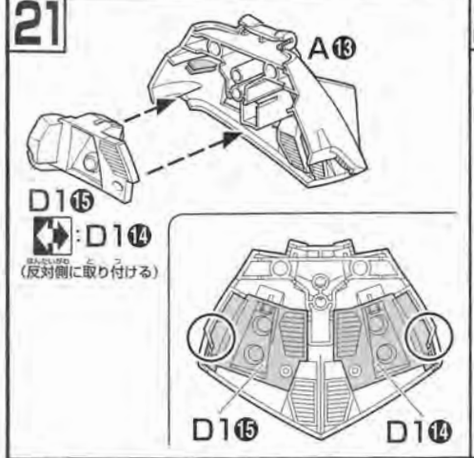
19



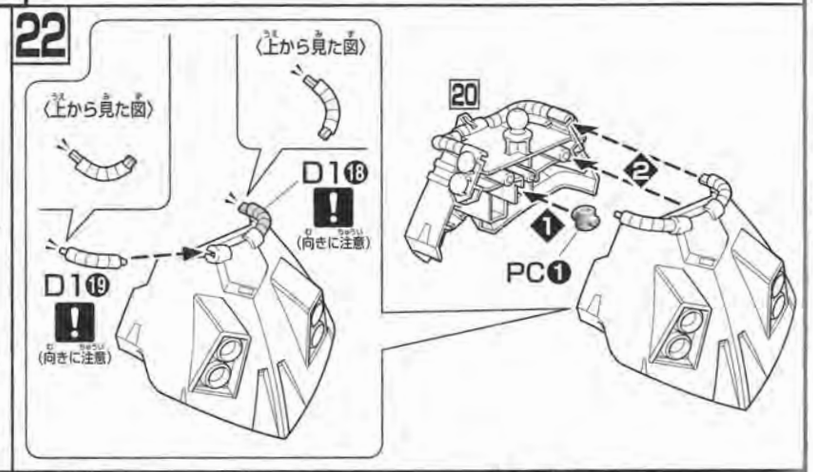
20



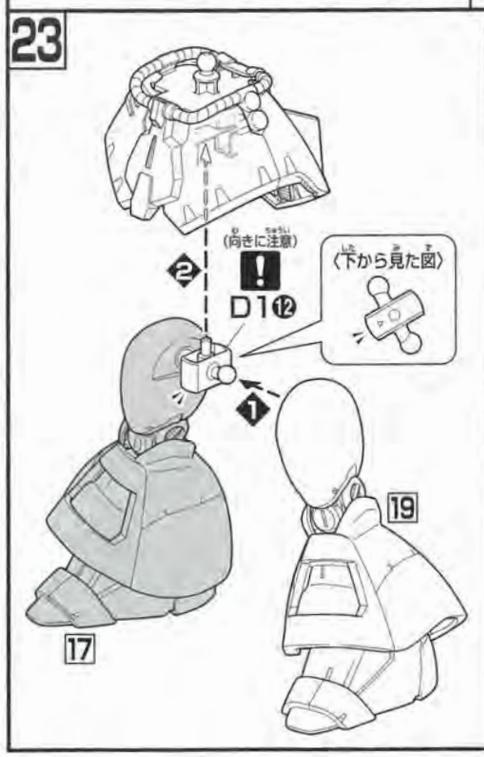
21



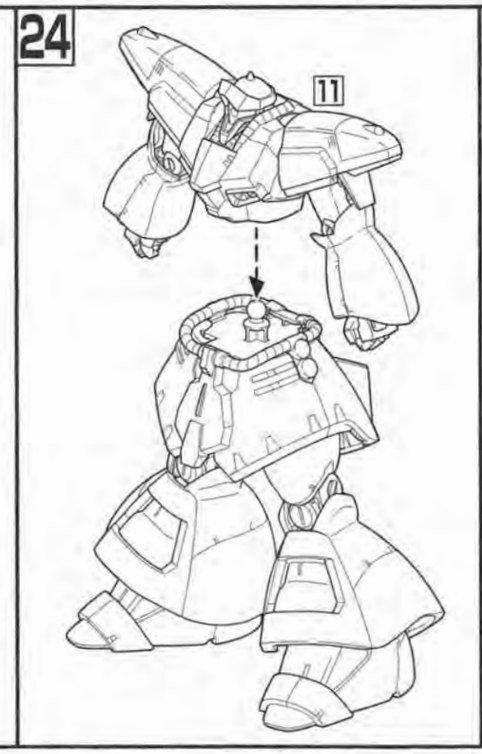
22



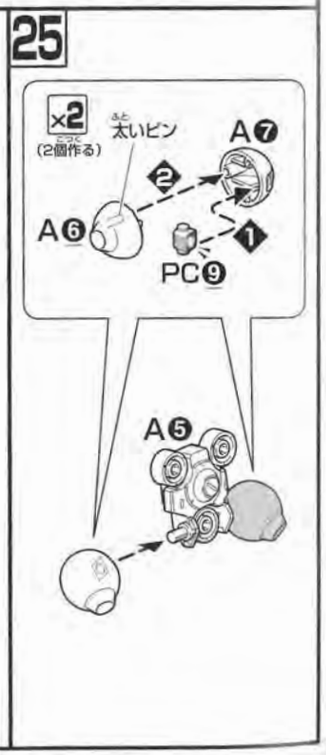
23



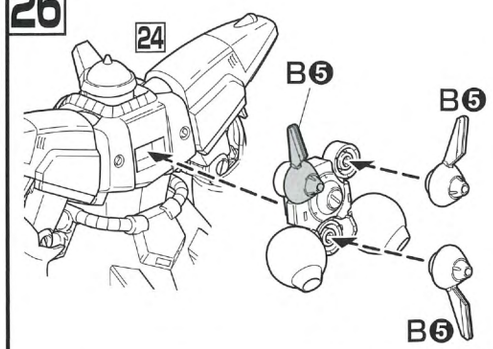
24



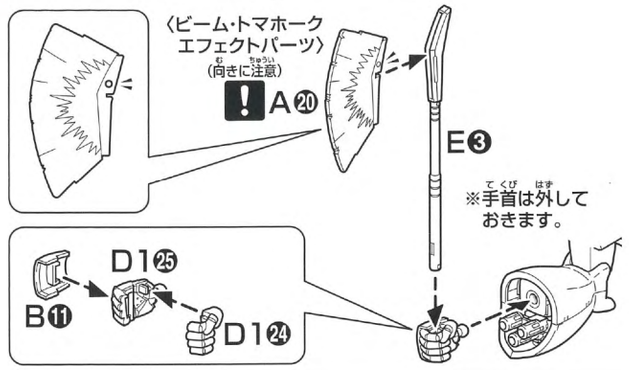
25



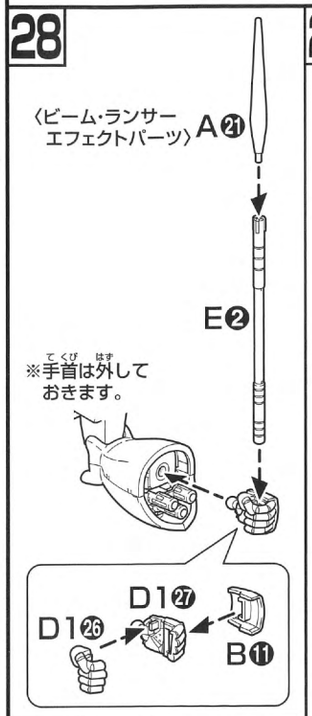
26



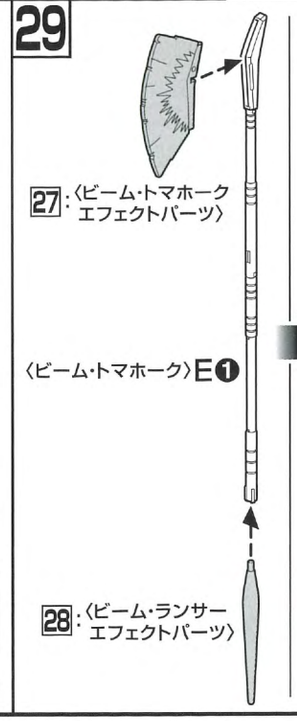
27

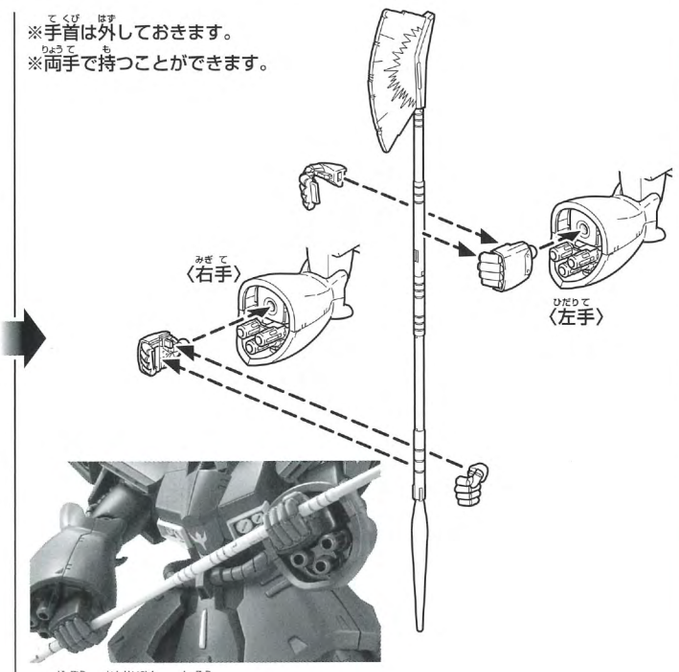


28



29

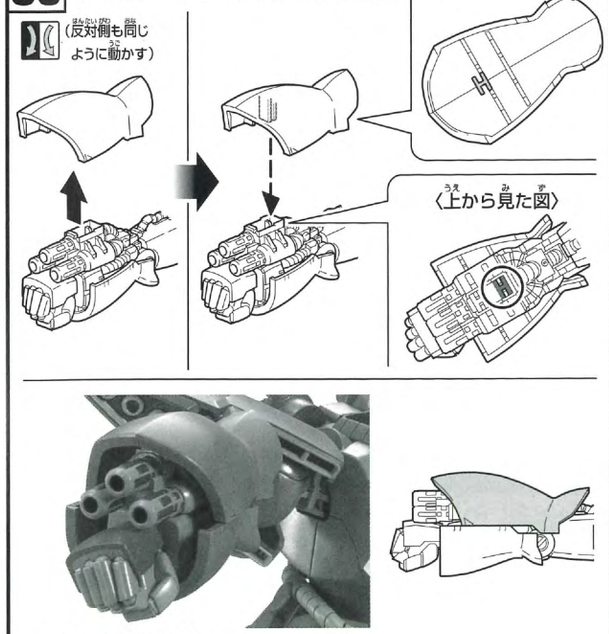




※画像の完成品は塗装してあります。

30

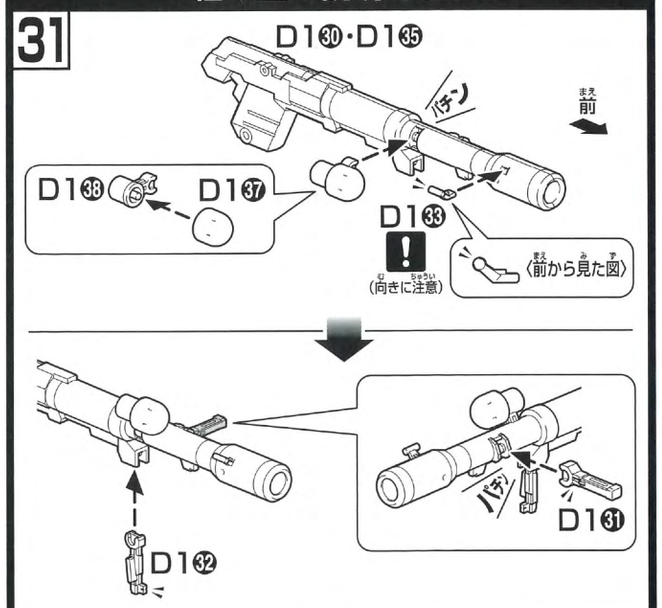
〈3連装ビーム・キャノンの展開〉



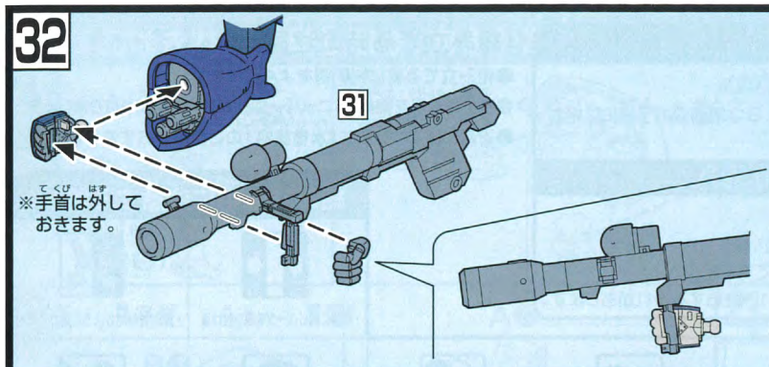
※画像の完成品は塗装してあります。

※31～35は、プラモデルオリジナル武装の組み立て説明です。

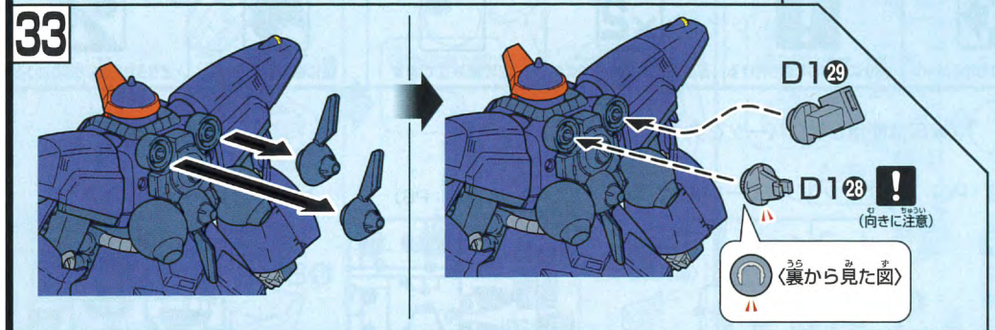
31



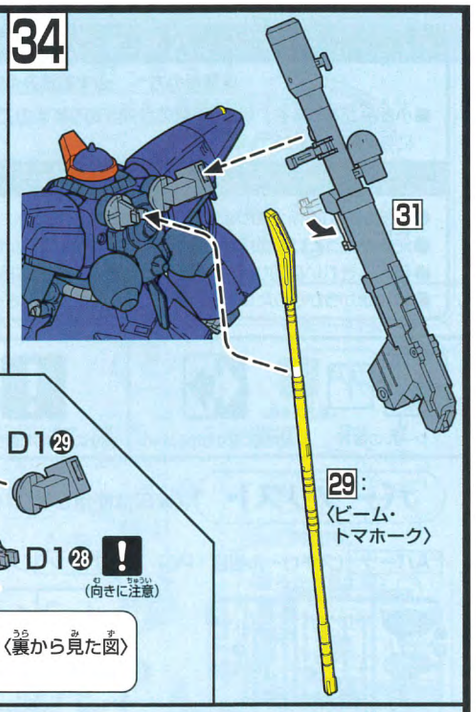
32



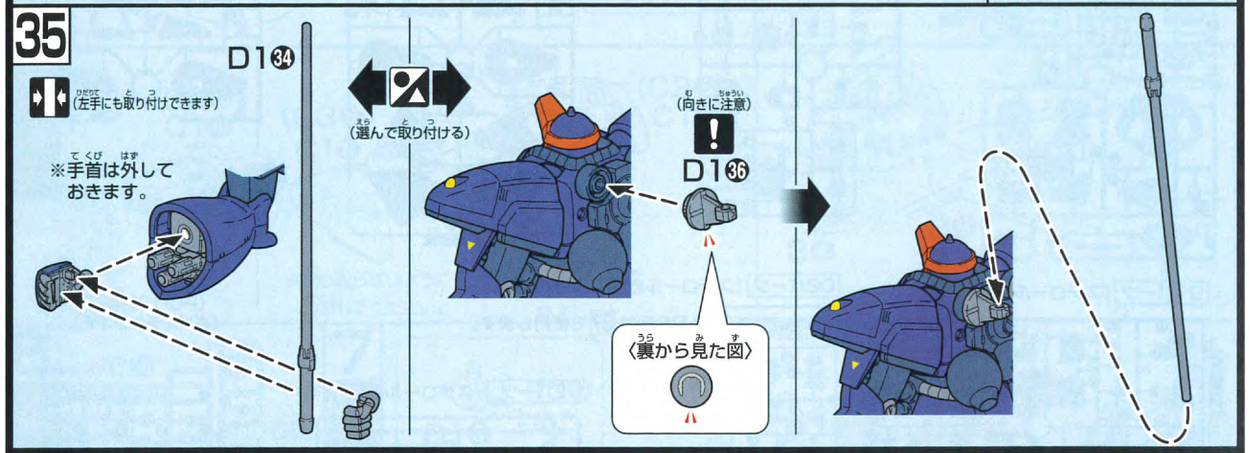
33



34



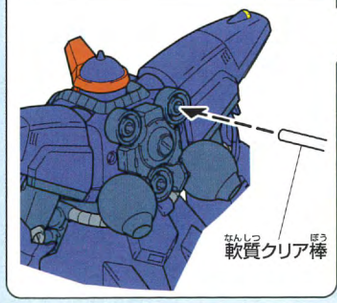
35

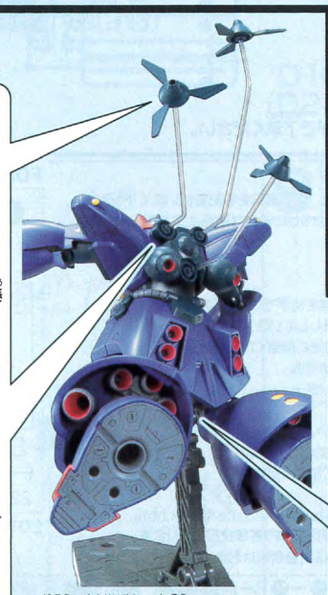


36

※HGUC ヤクト・ドーガ(ギュネイ・ガス専用機)(別売り)、またはHGUC ヤクト・ドーガ(クェス・エア専用機)(別売り)に付属の軟質クリア棒を使用することで取り付けられます。

×3 B❶
(3個作る)
軟質クリア棒



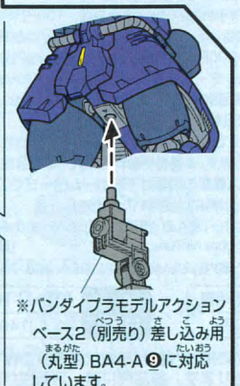


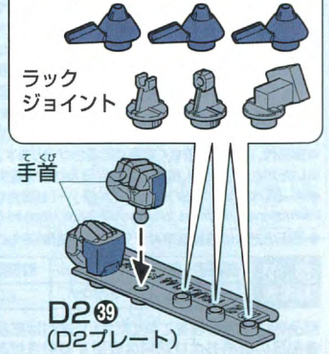
※画像の完成品は塗装してあります。
※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

37

※D2㊴(D2プレート)を切り取ります。

※D2㊴(D2プレート)にオプションパーツを取り付けておくことができます。



※バンダイプラモデルアクションベース2(別売り) 差し込み用(丸型) BA4-A❾に対応しています。

※3つのピンには、いずれかのオプションパーツを取り付けることができます。